

文章力、飛躍的伸びた 伊平屋 教職員対象に新聞講座

NIEでの新聞活用法などについて講義を受ける教諭ら。7月25日、伊平屋小学校



【伊平屋】新聞を教材として活用するNIEの実践講座が教職員を対象に7月25日、伊平屋小学校で行われ、同校、幼稚園、野甫小中学校から各学年の教諭が参加した。講師はNIEアドバイザーの佐久間洋教諭(伊平屋小)が務めた。新聞を

読むことで5分間で世界情勢が把握でき、意見交換することで相手と会話が生まれ、社会性が身に付くなど具体的な活用の利点を参加した教諭それぞれが実感した。NIEの解説と歴史的背景の説明、電子情報全盛の時代でも、信頼性など新聞が持つ優位性に触れた。実際に新聞を使い

5分間で全ての見出しを読み、気になった記事について意見交換をした。新聞の写真を切り貼りし、吹き出しを書くワークショップでは想像力や言語力が鍛えられ、意見を文章にすることで文章力が付き、漢字を書く能力も高まるなどの波及効果を実感した。

新聞を教材として活用している6年生は、3カ月間で文章力や表現力が飛躍的に伸びたことが報告された。親子で週1回作るスクラップ作りで記事を通して親子の会話も多様になったという。

野甫小中学校の久高瞳子教諭は「低学年でも思考力や想像力が付くことが分かったので、これから授業に活用していきたい」と話した。

(野甫英芳通信員)